

教授 田口 貴久

教育上の能力に関する事項	年 月 日	概 要
◎教育方法の実践例	2015～2016	<p>実技教育上有用な先例となる作品をパソコン上にスキャンしてスライドを作成しそれを見せながら美術史の上での絵画技術の変遷や、その裏付けとなる思想や世界観を、理解を立体的で系統だったものにさせるように努めた。</p> <p>卒業制作の先例となる作品をスライドとして製作し、卒業制作の制作過程なども踏まえて解説し具体的なイメージを持たせることで卒業制作への導入をした。</p>
◎作成した教科書・教材	2015～2016	<p>「中世の美術」「ニコラ・ブッサン」「グリユネバルト」「ボッス」「ターナー」「モロー」「セザンヌ」「マチス」「ピカソ」「レジェー」「ブラック」「ジャコメティ」「ルオー」等それぞれ10数枚から数十枚のスライドを作成して歴史の流れや影響関係などを実作者の立場から解説し学生の技術や思想の深まりや向上に努めた。</p> <p>また、作品制作の研究のための自由模写等を勧め、たとえば「マチスのシャルウダンにおける自由模写・ピカソのゲルニカとブッサンの作品の関係・アビニオンの娘とセザンヌの水浴図の影響関係等」に具体的に解説し作画上の工夫が歴史的な蓄積の上に成り立っている事実を制作の実態の中で体感させた。</p> <p>西洋絵画のみならず、東洋とりわけ日本美術にも着目するように指導し、「雪舟等の水墨画」とセザンヌやキュビズムの作品の近縁関係をスライドと実作の指導を通し理解させるように努めた。</p> <p>北斎・写楽などの作品がフランス近代絵画にあたえた影響を解説し日本絵画の先進性に気が付くように指導した。</p> <p>明治期以降の日本画「速水御舟」「徳岡神泉」などのスライドを作成し、彼らの作品にも目を向けさせ今日の洋画が西洋絵画の影響下にあるだけでなく日本人の美意識に裏打ちされることの重要性に気付かせるように努力した。</p>
◎その他	上野の森美術館	<p>卒業生に関しても、ベロン会等のグループ展を通して積極的にフォローした。</p> <p>上野の森絵画大賞展 日本放送賞佳作</p>

著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概 要
◎展覧会 素描展		2016. 7	銀座高輪画廊主催	素描 1 点出品
傘の会		2016. 8	松坂屋本店	笠井誠一先生を中心にした研究を目的とした作品展。油彩20号・10号出品
第68回立軌会展		2016. 10	東京都美術館	100号・50号ベロンに取材した油彩
田口貴久個展		2016. 10	銀座高輪画廊主催	高輪画廊の企画による個人展80号50号40号等の大作中心に30点ほど出品

第8回赤兎馬	2016. 10	銀座高輪画廊主催	油彩20号・10号出品
第16回私のマチエール展	2016. 12	ギャラリー綾主催	名古屋芸術大学、名古屋造形大学、愛知県立芸術大学の教員と卒業生による人材育成を目的とした展覧会。発起人
ペロン会東京展	2016. 12	銀座高輪画廊主催	20号・10号製作品
第2回ペロン会展	2017. 3	三岸節子記念美術館	油彩80号・50号12号・4号の作品を制作発表 本校の卒業の作家3名を含む研究を目的としたグループ展
私たちの選ぶ郷土の作家たち	2017. 3	豊川桜ヶ丘ミュージアム 「みわ」の会主催	豊川市の美術愛好家のグループ主催による選抜展。油彩80号・50号出品